

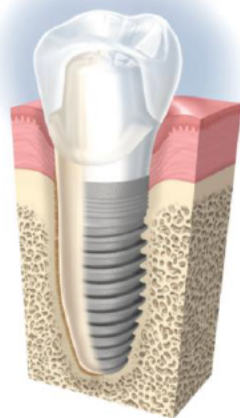
光を当てて抗菌・抗ウイルス性を発現するインプラント表面をつくろう

材料科学総合学科 材料システム工学コース 医用材料工学分野 成島・上田研究室

○上田 恭介 准教授 ueda@material.tohoku.ac.jp 022-795-7295

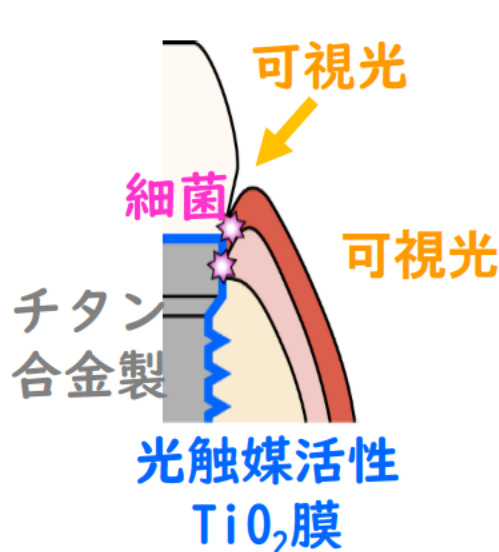
<https://narushimalab-material-tohoku.jp/>

デンタルインプラント

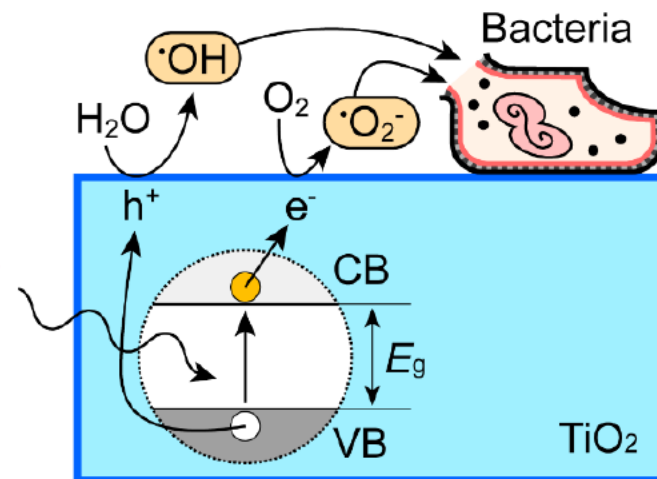


<http://www.swjo.jp/norvel-smile/index.html>

皮膚を貫通して使用されるため、口腔内の細菌による炎症＝インプラント周囲炎が発症



可視光応答型光触媒活性
TiO₂皮膜により抗菌性を発現



➡ ウイルスの不活化にも有効

本テーマでは、優れた光触媒活性を示すTiO₂膜をゾルゲル法により作製し、可視光照射下における抗菌・抗ウイルス性を評価することを目的とします。材料作製から材料学的分析、評価まで一連の流れの中で、材料開発およびもの作りの楽しさを感じてもらい、電子顕微鏡等の材料科学における基本的な分析装置の操作方法の会得を試みます。

初回：10月3日(火) 16:30～ @材料科学総合学科 教育研究棟4F 407